

## 基は元ない ～きた道を知り、いく道を見据える～

私たちがこの日本列島で生きるということは、自然災害からの逃れることが出来ない宿命にあると思います。そして、その被害は気象の変化もあって、昨今は発生頻度や被害の大きさが増しているように思われます。この災害は、被害を実感した者にとっては忘れることが出来ないものですが、その状況を次世代へとつなげることは難しい。まして、よその地域の人にとっては、対岸の火事とばかりに一時の関心に終わってしまうという、いわば自然災害の伝承がいかに難しいかということだと思います。

自然災害に対する備えということからすると、一番に効果的なことは経験を生かすということ、そこから学習することの積み重ねであることを再認識しておく必要があると思います。そのために、よく言われていることは風化させない、確実に次世代へつないでいくことが大切であるといわれています。突然に起きる自然災害に、日ごろからエネルギーを費やすのは効率が悪く、発生したときに何とかするということが大事なことであるといわれる人もいます。しかし、実際には、発生したときに冷静に、確実に適切な行動をとることがいかにむずかしいかということは、多くに被害者が経験しているところです。そのようなことを思いつつ、事前に無理なく備えることはないか、日々を過ごす中でなんとなく気になることをメモしてみたものです。

1. 暮らし方を見直す
2. 里山を生産林に
3. 地域のリスクを話し合う
4. コロナ禍を活かした危機管理
5. 素因を知れば思いがけないことも想定外にはならない
6. 人間と森林の関係から見えてくるもの
7. 役割分担の大切さ
8. 課題解決への過程を楽しむ
9. 経験したことの無い大災害に遭遇すると・・・
10. 自然災害による被害の新顔
11. 災害経験を風化させずに伝えていくために
12. わが国の自然災害と暮らし
13. 防災教育のポイント
14. 防災力アップとは
15. 社会変化と災害の複雑化

16. 気候変動と人類社会 (1) 自然現象の変化について
17. 気候変動と人類社会 (2) 人間が環境に影響？
18. 寒くなると思い出す・・・
19. 大きな自然現象の後遺症
20. 水害対策のいろいろ、聞きかじり
21. 昔から日本人は地形に敏感だった
22. これまでの経験をどう活かす？
23. ハザードマップを活かすとは・・・
24. 試算、想定をどう避難や対策に活かすか
25. 防災力を身につけるためには
26. 防災を日常で学ぶ
27. 流域治水の基本の基